各社が誇る、現場で活躍する社員

要望に応え信頼を得る

ヴェオリア・ジェネッツ 岐阜営業所
業務主任（電算業務主任者）
服部 航平さん

■業務がつながる先

今は口座振替データの作成や、お客さまがお支払いになった料金の消込作業などの電算業務に携わっています。執務場所は上下水道料金センターから岐阜市上下水道部庁舎での勤務になり、以前とは業務形態もがらりと変わったため、一つひとつの業務がつながる先や内容をしっかり理解してから業務に当たるよう努めています。

業務内容に限ったことではありませんが、分からないことを分からないままにしておくことは自分のためにもなりません。委託者と同じ空間で仕事をしているからこそ得られる知識や経験もあると思いますので、自分は受託会社を代表してきているという自覚を持ち、日々委託者の要望に対して丁寧に応えることを意識し委託者からの信頼を得ることを目標にしています。合わせて自身のスキルアップやキャリア構築につなげていきたいとも考えています。

■強みは人の温かみ

私が転職活動をする上でポイントにしていた要素の一つが職場の人間関係です。もちろん入社前はネットで確認しただけで、実際のところは分かりませんでしたが、入社後の今、当社の強みを聞かれたら「人の温かみを感じられる職場」だと胸を張って答えます。

私自身、岐阜営業所から異動した経験はまだありませんが、上司にいつでも相談できる環境、同僚と活発にコミュニケーションを取れる環境が全国どの営業所にもあると思っています。中でも岐阜営業所には「愉快な仲間たち」が集まっており、得意なこと、苦手なことを補い合いながら職務に当たることのできる環境だと実感しています。

遣いが重要です。頭では理解していたのですが、お客さまに対して適切でない言葉を口にしてしまい、お叱りを受けたこともありました。

この経験は、上司や同僚の対応を見て良いところを真似ることや、職場内コミュニケーションをとることの大切さを実感するものでしたし、自身のスキルアップにもつながりました。その後は、受信したデータの精査や検針員からヒアリングし課題をまとめる業務を経て、入社5年目になる今年4月から現在の職務に就いています。

■失敗経験を糧に

私は中途採用で当社に入社後、まずは電話受付業務を経験しました。前職は工場勤務の職種だったため、いわゆるBtoCの電話対応は未経験からのスタートでした。お互い顔が見えない状態での電話のやりとりは言葉

営業から施工管理まで

荏原実業
関東支社 主任
鈴木 清貴さん

■環境を守りたい

上下水道のポンプ機器などを主に扱う当社は、商社、メーカー、エンジニアリングと三つの顔を持っています。その中で私は、エンジニアリング事業で営業と施工管理を担当しています。関係部署とお客さまを仲介して

の意見提案や協議、施工現場における現場指揮など、営業を軸として施工管理まで幅広く携わる仕事をしています。

昔から自然が好きだったため、環境に対しての意識を強く持っており、大学で環境工学を選ぶきっかけにもなりました。人間と切り離すことができないのが「水」。生命の源とも言われる物質は無限ではありません。環境の再生に向けて知識を深める中で漠然と水処理業界で働き、水環境を守る仕事で社会貢献していきたいという思いが募るようになりました。

■成長した今の自分

今年で入社8年目となりますが、入社時から確実にできることが増え、成長を実感しています。

入社2年目の現場では、コミュニケーション不足が原因で工事が中断してしまうという苦い経験をしました。叱られて落ち込むこともありましたが、上司や先輩のフォローもあり乗り越えることができました。

その後、5年目には初めて大型案件を任されました。一人で受注から施工まで担当し、老朽化した下水道の中継ポンプを更新するものでしたが、入社時からステップアップして重ねた経験が活かされたと思っています。コミュニケーションを常に心がけながら、責務を果たすことができ、大きな達成感を味わいました。

まだ不安も多くありますが、その中でも自信を持って仕事に打ち込むことができるのはこれまでの経験と、上司や先輩のフォロー体制があったからだと思います。

■意志と〝考動〟

コロナ禍の緊急事態宣言を受けて、早急に週2回を目安とした在宅勤務の導入やテレワーク環境の整備が行われました。普段は車で営業しているので、事務所に戻らなくても出先や在宅でできる仕事の幅が広がり、重宝しています。社会の動きに合わせて積極的に対応を進めてくれるので、働きやすい環境が整っていると思います。

また仕事面においても、自分がやりたいビジョンへのチャレンジを後押しして経験を積ませてくれます。個人の個性を尊重してくれるので、自分のペースで仕事に取り組めるのではないでしょうか。

会社はいろいろな人が集まることで、何かが生まれる場所でもあります。考え方は人それぞれ。自分の意志で考えて行動できる方と仕事ができることを楽しみにしています。

水を仕事にする魅力、やりがい

イメージを設計の形に

オリジナル設計
施設本部東日本施設部施設二課
田村 孝太さん

■かみ砕いて提案する仕事

水コンサルタントの仕事は、お客さまが持つイメージを設計により具体化させ、わかりやすく伝える仕事です。私たちが持ち合わせる技術力や知識量を存分に発揮して、相手が思い描くイメージに合致するものを形作っていきます。

一見、デスクワークのイメージがあるかと思いますが、現地調査の結果を重視して設計を進めるため、デスクを離れた仕事も多くあります。要望を形にするまで、半年～3年の長期で進めていくので、お客さまと二人三脚で検討・提案を重ねながら、お互いに納得できるまで良いものを一緒に作っていく感じです。設計内容に対して良い評価をいただけた時は、正直に嬉しいですね。

■自分の仕事が誰かのために

人体の約70%が水という話があるように、水は私たちの生活に直結し、生きていく上で欠かせないものです。その水を運ぶ上下水道は、何不自由なく使用できることが当たり前と認識していました。しかし、実際にはその当たり前を維持するための下支えをしている仕事が存在し、私たちの日常が保たれていることに気づき、陰ながら社会を支えている姿に興味を持ったことが、水コンサルタントを知るきっかけになりました。

大学では、建築構造系の研究室に属していたので、特別水に詳しいわけではありませんでしたが、入社直後から東日本大震災で被災した処理場の復旧作業に携わった経験が「持てる知識を通じて誰かの役に立ちたい」という思いを強くしました。

今年で入社11年目になります。右も左もわからない状態からスタートした仕事でも、知識や技術は後からでも十分身に付くので大丈夫です。文系・理系問わず、どんな学問であっても活かしていけると思います。

■新たな成長の糧に

コロナ前から積極的に働き方改革を進めてきたこともあり、全社員へのタブレットPCの支給や在宅勤務の導入など、かなり柔軟性を持っている会社だと思います。改善点があれば、若手・中堅社員が集めた意見を聞き入れる機会を設けているので、声が届いている実感があります。きっと自分に合った働き方が見つかるでしょう。

また、仕事面においてもOJTによる新人教育はもちろんのこと、部長などが相談役となる設計内容の審査会というものもあります。会社全体として、より良いものを提供するというイメージや方向性が共有できているからこそ、経験を踏まえた多角的な意見が新たな気づきを与えてくれる場にもなっています。

初めは誰もが初心者で、できないことのほうが多いです。互いに支え合いながら、一丸となって一つの成果品を作り上げるということが、自身の領域を広げ、成長につながっていくと思います。私たちとともに日常の水を守っていきましょう。

1946年に香川県で創業して以来、
たえず姿を変え続ける水の課題に向き合ってきました。
私たちは、常に考えています。
より良い社会のために、水を活用できないか。
より良い未来のために、水とどう接するべきか。
水環境や水インフラを通じて、暮らしを豊かにしていく。
エネルギー分野や、防災・減災への取り組みなど、
新たな可能性に挑戦し、その価値を拡げていく。
私たちは、水の綜合企業として、これからも進み続けます。

水をつくる、いかす、考える。
FUSO
株式会社フソウ

住所：〒103-0022 東京都中央区日本橋室町2丁目3番1号　TEL：03-6880-2110　URL：https://www.fuso-inc.co.jp